

日本の未来を拓く

フロンティア・ロード

検証!

平成19年3月に発表した
「オーカルマニユフェスト」
この4年間の実績を検証しました。



3つの
観点

「子ども達と高齢者が様々な場面で交流するまち横浜」の構築
「女性が社会のあらゆる分野で活躍できるまち横浜」の構築
「人と地域の個性を大事にするまち横浜」の構築

①ひとに優しい横浜にー

■子どもたちの健やかな育ちのために

- 妊婦健康診査の費用補助の3回から14回への拡充を推進。
- 産科病床・助産所等の設置、医師等の人材確保、産科あんしん電話相談など身近で安心して出産できる環境整備を推進。
- こんにちは赤ちゃん訪問事業の創設を推進。
- 子育て世代を地域の企業・商店と行政の協働でサポートする「ハマハグ」事業を提案し創設を推進。

■生涯にわたって健やかであるために

- 「よこはま認知症コールセンター」の開設を推進。
- 介護支援ボランティア・ポイント事業の創設を推進。
- 一人暮らしや高齢者世帯を地域で見守るネットワークや、買い物などの生活支援を行い高齢者の孤立化を防ぐモデル事業を推進。

②だれもが学び支え合う横浜にー

■子どもたちの学びを豊かにするために

- 市立小学校に児童支援専任教諭の配置を18校から70校へと拡充を推進。
- チームティーチングや少人数授業、アシスタントティーチャーを小中学校に派遣するなど、きめ細やかな学習指導を行える環境整備を推進。

- 放課後キッズクラブを30ヶ所から69ヶ所へと拡充を推進。

■生涯にわたる学びを支えるために

- 高齢者が施設を利用しやすいうよう優待する仕組みを提案し「濱ともカード」創設を推進。

③ひとが集い活躍する横浜にー

- 横浜市中心企業振興基本条例の制定を推進。

- 緊急借換支援資金の創設や保証料助成の拡充を推進。

- 「よこはま若者サポートステーション」「地域ユースプラザ」「青少年相談センター」を中心に、困難を抱える若者の自立支援のための取り組みを推進。
- 文化・芸術を街づくりの基軸にした「創造都市事業」を推進。

④だれもが安心して暮らせる横浜にー

- ドクターカーの導入、YMAT(横浜救急医療チーム)の編成など救命救急体制の強化を推進。
- 脳梗塞に効果があるt-PA(血栓溶解薬)を使用した脳血管救急医療体制の整備を推進。

- 女性特有のがん検診無料クーポン券の配布を推進。

- 市営バス79系統を営業路線化し継続を推進。